

山梨の未来を担う人材育成検討委員会の設置について

1 目的

本県産業の成長・発展を図るため、県の人材育成機関における中長期的な人材育成の方向性について、産学官が連携して検討を行う。

2 設置の経緯

平成29年11月、産業技術短期大学校の在り方について審議した県職業能力開発審議会から、次のとおり答申を受けたことを踏まえ、産学官が連携して検討を行うこととした。

検討に当たっては、第4次産業革命、人口減少・少子高齢化、グローバル化など人材育成機関に共通する課題があるため、県の他の人材育成機関も対象とする。

<答申>

高校生の4年制志向や、高度な人材を求める企業の意見、新たな国の動き、他県の状況などを踏まえ、現行の2年制に対する産業界からの高い評価等を考慮する中で、本県産業の特性にあった人材育成の在り方を検討していくことが望ましい。

2 対象機関

宝石美術専門学校、産業技術短期大学校、峡南高等技術専門校、専門学校農業大学校

3 検討体制

(1) 山梨の未来を担う人材育成検討委員会（委員会）

①委員：17名（学識経験者5名、産業関係8名、労働関係1名、教育関係2名、保護者関係1名）

②内容：県の人材育成機関の方向性について検討

(2) ワーキンググループ（WG）

①委員：21名（学識経験者5名、産業分野関係者10名、教育関係者6名で構成）

②内容：委員会における意見を踏まえ、具体的な取り組みについて検討

4 スケジュール（予定）

平成30年 6月12日 第1回委員会開催

8月頃 第2回委員会開催

11月頃 第3回委員会開催

3月頃 第4回委員会開催、報告書のまとめ

※必要に応じてWGを開催